

報道関係各位
プレスリリース

2024 年 9 月 19 日
株式会社 Liberaware

世界 60 カ国の発電所に 100 万台以上のバルブを導入する 岡野バルブ製造株式会社と資本業務提携を開始

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役 関 弘圭、以下「当社」）は、火力発電所などの大型プラント向けバルブの製造・販売・メンテナンスなどを行う岡野バルブ製造株式会社（本社：福岡県北九州市、代表取締役 岡野武治、以下「岡野バルブ製造」）と 9 月 20 日より資本業務提携を開始します。今回の資本業務提携により、更に多様なお客様に当社のソリューションを展開し、ミッションである「誰もが安全な社会をつくる」ことの実現に向けて邁進していきます。



■資本業務提携の背景・今後の展開

当社と岡野バルブ製造は、福島第一原発内の設備調査などこれまでも協業を行ってまいりました。電力業界を中心に、プラント設備の DX を実現するため、当社が開発したドローン「IBIS2」のパイロットチームを岡野バルブ製造社内に組成するなど、より効率的なドローン調査を進行する為の組織作りも既に完了しています。

この度の提携により、従来からの連携を更に強固なものにし、社会問題でもある老朽化が進む国内インフラ・プラント設備へ「IBIS2」を活用した点検及び DX ソリューションを展開していきます。特に国内電力業界における主要プラントへ多数の販売納入実績のある岡野バルブ製造との提携は、当該業界での当社及び当社ソリューションのプレゼンスを向上させ、顧客課題の更なる解決に期待しています。

また、中長期的には当社が持つドローン開発の知見と岡野バルブ製造が持つ非破壊検査現場における豊富な経験をもとにドローンの共同開発を計画しています。

本件は当社の成長戦略に沿った主要業界の深掘りによる業界拡張の一環として位置づけており、今後も、インフラ・プラント現場の DX を進めるため、ドローンのみならず、ソフトウェアに係る DX ソリューションも広めるべく邁進してまいります。なお、本件による当社業績への影響は軽微です。

▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会社名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）

代表者：関弘圭（ミン・ホンキュ）

所在地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1

設立：2016 年 8 月 22 日

事業内容：・産業分野に特化した非 GPS 型小型ドローンの開発

- ・IoT 技術・人工知能を活用したシステム開発
- ・小型ドローン「IBIS」を活用した点検・測量ソリューションサービス
- ・小型ドローン「IBIS」の販売・レンタルサービス
- ・映像加工・編集サービス（距離計測、異常検知等）

URL：<https://liberaware.co.jp/>

▼岡野バルブ製造株式会社について

1926 年の創業から発電所向け高温高压バルブの国産化成功を皮切りに、世界的ニッチトップの道を歩んできました。「Manufacturing Transformation」を掲げ、1 世紀にわたり蓄積したものづくり企業の基盤に、最先端情報技術を中心とした革新的新興技術とクリエイティブを組み込み、未来型ものづくり企業への先例となるべく挑戦を続けています。

会社名：岡野バルブ製造株式会社

代表取締役社長：岡野武治

本社所在地：福岡県北九州市門司区中町 1-14

設立：1926 年

事業内容：・発電用高温高压バルブの開発・製造・保守

- ・その他工業製品の受託生産
- ・工業プラントにおける各種工事
- ・研究開発の受託
- ・DX の実施・支援
- ・産業振興、地域振興の実施・支援

URL：<https://okano-valve.co.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 Liberaware 広報：向山

TEL：090-7195-4421 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com